

各 位

上場会社名 キヤリアバンク株式会社
 代表者 代表取締役社長 佐藤 良雄
 (コード番号 4834)
 問合せ先責任者 常務取締役経理財務部長兼経営管理部長 橋本 正太
 (TEL 011-251-3373)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年7月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年5月期通期連結業績予想数値の修正(2019年6月1日～2020年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,038	131	129	53	54.21
今回修正予想(B)	5,663	113	120	△7	△7.77
増減額(B-A)	△375	△18	△8	△61	
増減率(%)	△6.2	△13.7	△6.5	—	
(ご参考)前期実績 (2019年5月期)	5,749	103	110	53	53.73

2020年5月期通期個別業績予想数値の修正(2019年6月1日～2020年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,336	20	24	14	14.74
今回修正予想(B)	3,827	△32	△28	△52	△53.02
増減額(B-A)	△509	△52	△52	△67	
増減率(%)	△11.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年5月期)	4,107	16	24	29	29.78

修正の理由

通期個別業績の売上高につきまして、派遣関連事業において、各企業の直接雇用により減少した派遣契約を取り戻すことができませんでした。また、各セグメントにおいて、特に第4四半期連結会計期間(2020年3月～2020年5月)にかけて、新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言を受け、研修事業の中止、行政系受託事業の開始延期及び派遣関連事業におけるイベント並びに販売系の契約が減少したことで当初予想を下回る見通しとなりました。営業利益及び経常利益につきましては、新型コロナウイルスの影響により、売上高が減少したため当初予想を下回る見通しとなりました。当期純利益につきましては、前述の理由に加えて繰延税金資産の取り崩しを行ったことによる法人税等調整額の増加により、当初予想を下回る見通しとなりました。

通期連結業績の親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、通期個別業績の当期純利益が減少した理由により、当初予想を下回る見通しとなりました。

以上